

私たち「福祉会」は、地域の民生委員児童委員の連携・支援を受けた福祉委員が、主に高齢者の「ふだんのくらしのしあわせ」のために様々な活動を進めています。中でも、介護予防事業「いきいきふれあいサロン」の開催は、コミセンや公民館等に集まっていただき、より多くの人との交流を通して少しでも元気になっていただくよう力を入れている活動です。

私が所属している自由ヶ丘第二区会福祉会のサロンは、年4～5回ほどの開催でアトラクションや茶話会などを開いています。ただ、アトラクションの選定には毎回頭を悩ませますが、宗像市ボランティアセンターにボランティア依頼のご相談をさせていただきとても助かっています。例えば「あろぼら」(アロマオイルによるリラックスタイム)や「お出かけ音楽隊」による音楽鑑賞では「参加してよかった!」「楽しくて元気が出たよ!」の声と笑顔に、私たちスタッフも喜びと元気をもらいました。これからも、沢山のボランティアさんを紹介していただき、福祉会活動へのご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

自由ヶ丘第二区会福祉会

サロン会事務局長 **鈴木 章**さん



ボラセンだより

平成29年度 Vol. 1

もくじ

ボランティアグループ紹介!

各団体へのボランティアに関する問い合わせは
宗像市ボランティアセンターへ 37-4100

【表紙】

* ボランティアグループ紹介!

・公益財団法人
日本民謡協会
宗像楽謡会

・人形劇 こやぎ座

【中面】

* 大活躍のボランティアさん紹介!

・野田 真由美さん
・立花 愛さん
・新山 芳子さん

「ボランティア入門講座」
参加者募集中

【裏表紙】

* ボランティア依頼者の声 ～いきいきふれあい サロンでの依頼～

・自由ヶ丘
第二区会福祉会

* ボランティアセンター からのお知らせ

・募集中のボランティア
・V-net 登録済みの
みなさんへ

* 発行者・メイトム地図

むなかたらくようかい 公益財団法人 日本民謡協会 『宗像楽謡会』(上演ボランティア)

宗像楽謡会の名前の由来は「この宗像の地で皆さんと楽しく民謡を唄おう」という想いから名付けました。



民謡は、先人たちの生活の中から生まれ、唄い継がれてきた生活唄であり、深く地域に根付いてきましたが、最近では生活環境や、家庭の家族構成も変わり、若い人が民謡に触れる機会が少なくなり、民謡人口も減ってきています。



私たちはこの宗像で幅広い年代の多くの方々が民謡に触れ、親しむことができるよう、老人ホームやケアハウスなどへの慰問、地域イベントで民謡を披露しています。

民謡だけでなく、ひょっとこ踊りやどじょうすくいなど様々な上演内容を組み込んで地域を盛り上げるお手伝いをさせていただいています。



公益財団法人 日本民謡協会 宗像楽謡会
はたしすよ
代表 **畑 静代**さん



人形劇『こやぎ座』(上演ボランティア)

子育てサロンに参加している母親が集まって人形製作をはじめた事がきっかけで人形劇こやぎ座が結成されました。60～70代の女性5人グループメンバーで活動しています。

人形は全てお手製で、マスコットキャラクターの子ヤギの「やっくん」と一緒に就園前の子どもたち向けの内容で人形劇を上演しています。



30分程度の演目は、人形劇とその他にも紙芝居、参加型のハンドベル、ブラックシアターなど、アルゴリズム体操に合わせてくまもんが踊ったりします。子どもたちの笑顔を活動の励みに、がんばっています。

よしたけ あきえ
人形劇こやぎ座 代表 **吉武 草恵**さん

ボランティアセンターからのお知らせ

【ボラセンだより 平成29年度 Vol.1 2017年10月1日発行】

宗像市社会福祉協議会 宗像市ボランティアセンター
宗像市久原180メイトム1階

Tel 0940(37)4100

Fax 0940(37)4101

E-mail v-net@syakyo.munakata.com

ホームページ <http://kouryuukan.com/v-net>

募集中のボランティア

こども見守りボランティア募集

就学前のこどもたちの見守り活動です

日時: 10月26日(木)、11月9日(木)

12月14日(木)、1月18日(木)

2月15日(木)、3月15日(木)

いずれも9:50～12:00まで

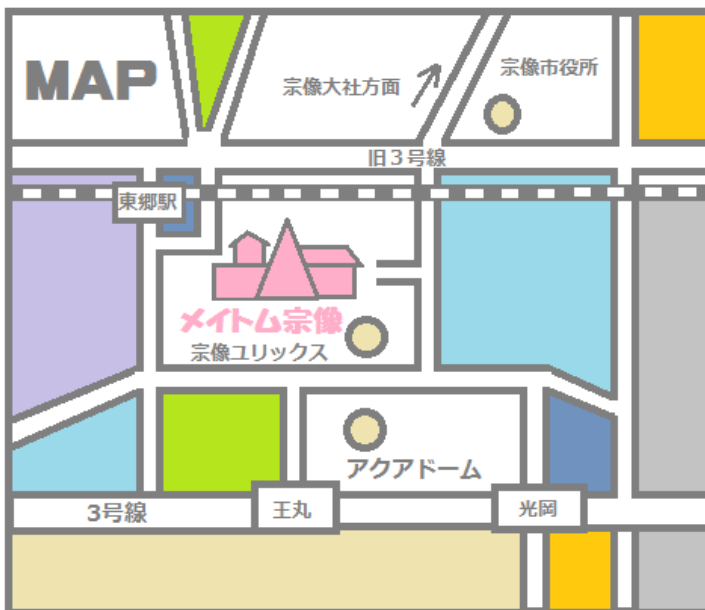
場所: メイトム宗像内

申込み・問い合わせは同センターまで

V-net 登録済みのみなさんへ

登録の内容に変更はありませんか? 変更があった場合は、速やかに当センターまでお知らせください。

活動紹介や活動報告、写真などホームページ、掲示板に掲載することもできますので、ぜひ活用してください。





大活躍のボランティアさん紹介！

ボランティアセンターに登録のボランティアさんに活動をはじめたきっかけなどをインタビュー！
各個人へのボランティアに関するお問い合わせは宗像市ボランティアセンターへ 37-4100

友人から教えてもらったことと、特別支援学校に通う近所の中学生の男の子と仲良くなったことがきっかけでボランティアをはじめました。



のだ まゆみ
野田 真由美さん (のぞみ園プールボランティア)

ボランティアをしている時、あえて注意をしないように心がけています。個性を理解して、強みを伸ばせる支援ができればいいなと思っています。

子どもたちが嬉しそうに活動しているそばで、子どもを見守るお母さん方が安心した表情をしているとき、お手伝いをしていてよかったなと思います。

誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して、まずは私自身がボランティア活動を通じて利用されている方の理解をし、何が必要とされ、何ができるのかを知りたいと思っています。



大学でボランティア活動をしていましたが、住み慣れた宗像でもボランティア活動してみたい、また、誰かの役に立てることを少しでもしたいと思い、ボランティアセンターに登録しました。

相手に楽しんでもらえるよう自分も常に笑顔で楽しむようにしています。嫌な思いを決してさせないよう自分の行動に注意しながらボランティア活動に取り組んでいます。「ありがとう」といわれるとボランティアをやっている良かった、またがんばろうと思います。

以前子ども見守りボランティアに参加しました。その後、見守りをした子どもさんが、成長しているのを見た時はボランティアをやっている良かったなと思いました。

これから就職活動などありますが、無理しないで可能な限り参加したいと思います。ボランティアに参加して、困っている人の助けにならなくても自分にできることから少しずつ今後も続けていきたいと思っています。



たちばな めぐみ
(子ども見守りボランティア) 立花 愛さん

子育てマイスターの集まりに参加した時に、おすすめがあり、ボランティアセンターに登録しました。

ボランティアは良かれと思って相手にとっては嫌な思いをしていたり、迷惑だったりする事があるかも知れないので、気をつけて取り組んでいきたいと思っています。

ほんのちょっとですが、世の中のお役に立てたという自己満足感がボランティア活動を通じて得られました。

ボランティア活動には興味がありますが、積極的に参加するには、まだ心身共に準備が整っていないような気がしますので、マイペースで続けていけたらと思っています。



しんやま よしこ
新山 芳子さん (子ども見守りボランティア)



メイトム宗像 1F ゆい工房

参加者募集中

平成29年11月28日(火) ボランティア入門講座

今年7月、九州北部豪雨災害で福岡・大分の一部の地域で大きな被害をうけ、今も復興支援に向けての取り組みが進められています。被災後は災害ボランティアについての報道が連日メディアで取り上げられ、注目を集めていました。今回の講座では、ボランティアで現地におもむく際に必要な「被災地や避難所で生活している方たちに対する配慮」「ボランティアの心構え」「自分たちの心の安全管理」について学習します。後半の体験学習では「バルーンアート制作」を実施。子どもたちの人気者になれるバルーンアートに挑戦できます。



子ども支援ネットワーク With Wind

講師 ふじわら ひろみ
藤原 浩美さん

プログラム1 講義 9:25~
「避難所の子どもたちの心身サポート」

プログラム2 体験学習 10:50~
「バルーンアートに挑戦！」

講師 ピエロのPさん隊
いまにし ひろゆき
今西 啓之さん



日時:29年11月28日(火)
9:15~12:15(9:00受付)
会場:メイトム宗像 ゆい工房
参加費:300円(保険・資料代)
定員:20人(先着)

申し込み・問い合わせ

宗像市社会福祉協議会
宗像市ボランティアセンター

TEL:0940-37-4100

FAX:0940-37-4101

✉v-net@syakyo.munakata.com

11月15日(水)までに講座名・名前
年代・連絡先をお知らせください

募集中のボランティア活動の紹介もあり
ボランティアセンターへの登録もできます